

H. P. Report

第7号

発行責任者 三菱電機株式会社 北陸支社 官公システム課 稲崎義明

ASPについて (3)

今回は「ASP」に対する個人的な考えを書いてみます。ですからまったく参考にならないかもしれませんが、的が外れているかもしれませんがご了承ください。

ASPというサービスが話題になり始めてもう1年となります。初めは「アプリケーションサービスプロバイダ」という名称からはどのような内容なのかがわからなかったものです。確かに、LAN上ではサーバにアプリケーションを一元管理する方法が考えられていましたが、実際はなかなか採用したということを知りませんでした。今回のASPはこれをインターネットを通じて行おうとするもので、内容としてはほぼ同じようなものと考えられるのではないのでしょうか。LAN上でアプリケーションを一括管理することは、それぞれの端末は最低限のアプリケーションだけを入れておけばよいことになり、動きがそれぞれの端末で差が出ないこととなります。アプリケーションのバージョンアップも、各端末に対してアプリケーションを配信してバージョンアップ作業をする必要がなく、サーバ上のアプリケーションを最新にしておけばそのアプリケーションを使う場合に最新のものが使えるようになるわけです。そのためのシステムがネットワークコンピュータであったわけですが、実際にはうまく機能したわけではありません。それはどうしてであったかを考えると、アプリケーションが充分に対応していなかったこともありますが、CSシステムの導入がようやく始まった頃で、開発もCSシステムが中心であったこともあります。また、その前のホスト中心のシステムの場合は、端末ではホストのデータ入出力しか出来なく、CSシステムになって端末でいろいろなことが出来るようになったこともあり、端末はサーバのアプリケーションをダウンロードしたものしか使えないという考え方が受け入れられなかったこともあるのではないのでしょうか。アメリカではどうだったのかは知りませんが、日本では長年いろいろな資料を個人で持とうとするところがあります。また、企業間においては、他の企業で使っているシステムとはちがう独自のものを導入しようとする傾向があります。そのくせ他で始まったことはすぐに飛びついてしまうところもあるのではないのでしょうか。

そこで「ASP」ですが今度はどうでしょうか。アメリカなどでは広範囲なアプリケーションをネット経由で期間貸しすることが普及しているようですが、大企業を別にするとこのようなアプリケーションを利用しようとするベンチャー企業が多く、これまでは必要とされていた基幹業務システムをASPで用意しようとするところがあるようです。また、特に他社と別のシステムを望んでいないところもあるのではないのでしょうか。

さて、これからの日本におけるASPですが、対象をどこに持っていくのか、どのような付加価値が提供できるかが普及するかどうかの境になるような気がします。どちらにしても大企業が導入することはまずないでしょうし、やはり中小企業で、付加価値として他社との企業間取引までの拡張がなされるなどこれまでにないサービスを考える必要があるようです。ただ、グループ内でイントラネットを構築しようとする場合にASPの考え方でシステム構築をするというのは有効な方法と考えられます。このように一部のクローズしたシステムであればASPも日本で根付くような気がします。一般的なアプリケーションを対象としてASPはもう少し日本的な部分を検討することがなければ普及はなかなか難しい野ではないかと個人的には感じています。

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 8月14日号

特集 購買がなくなる

→インターネットを利用した商取引が活発になって生きているが、企業間の取引を電子化することによって企業の購買部門の解体の危機が迫っている。しかし、これまでの日本的商取引は通用せず、戦略部門への脱皮が必要となる。

解説 地上はデジタル放送がケータイへ、カーナビへ

→地上はデジタル放送は、OFDMという変調方式で、携帯電話やカーナビへのデータ送信が可能になる。

○日経オープンシステム 8月号

特集 データベース構築の新常識

→データベース構築にもハードウェアの性能向上、低価格化が影響し始めている。大容量メモリへのマスターテーブル常駐による高速化など、これまでとは違った方法、チューニングでデータベースを構築できるようになってきた。しかし、常識は変わったが、基本を知れば怖くない。

活用 PCサーバのクラスタリング

→PCサーバのクラスタリングとは、複数のサーバをあたかも1台の大規模サーバとして取り扱う技術で、Webサーバ用途のように実際の処理を分担して行う場合と、データベースサーバのようにデータを共有化し、障害発生に備える場合とがある。

○日経ネットビジネス 9月号

特集 「ブロードバンド」で顧客をつかめ!

→今年末はMTCが注目される。M(モバイルー携帯電話)、T(テレビ)、C(コンビニ)の各コマースで、目指すはブロードバンド(広帯域)時代への一番乗り。新サービススタートによって巨大市場となる各コマースに対して各企業が先行者利益を狙い動き始めている。

○DOS/V magazine 9月1日号

特集 予算4万円!PCアップグレード大作戦

→今回はメーカー性PCのアップグレード。PCIスロットが2つしかないなどの制限はあるが、それほど古いPCではないところでどこまで参考になるか。

特集 Palmが変える日本のPDA

→PalmOS搭載機が日本でも複数のメーカーから発売され、Pocket PC搭載のものも発売となる。インターネット機能を中心に今後のPDA市場がどうなるか。

特集 CD-RWを使い倒す

→ドライブが2万円を切り、メディアも100円を切るようになったCD-RW。FDやMOと同様に使えるソフトも登場し、これから同CD-RWを使っていくか。

